

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
英米文学作品研究 Readings in English Literature		2年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	演習	選択	(教職課程必修(中学校教諭英語二種))	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
異文化間コミュニケーション				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
堤 裕美子	講義棟3階	火曜日午後、金曜日午後		授業中に指示します
授業の概要				
英米文学の近代以降の動向や時空を超越し、文学作品に描かれている歴史的、社会的、文化的状況を読み取りながら、人間の本質が文学においていかに描かれているか探る。英米文学世界の芸術性を考察し、文学の面白さ、素晴らしさを感じずべく作品に迫りたい。				
授業の目標				
①作品を読み味わうことから想像力を働かせ、自己の人生を創造豊かなものにすることができるようにする。 ②「生きる」ということについて真摯に向き合い考えることができるようにする。 ③作品の描写、思想、人間の「状況」について考察することができるようにする。 ④社会のあるべき姿、人間の在り方について考えることができるようにする。				
授業の方法				
授業の進め方は、講義と演習の形式を併用して行う。毎回の授業はテキストを中心に進めていくが、時には、プリントを配布し、講義を行う。各自一人ひとりが担当箇所を熟読し、鑑賞したことをクラス全体の前で発表し、その内容についてディスカッションをする。この繰り返しの中から作品をより深く読み、より深く味わい、それを自らの言葉で表現する力を養う。				
学習の成果(学習成果)				
①文学世界に触れることにより、感動する心が生まれ人生を豊かにすることができる。 ②「生きる」ことに真摯に向き合うことで自己の人生について考え、判断力を養うことができる。 ③さまざまな知識が身につく深く教養を身に付けることができる。 ④人を思いやるやさしさを養うことができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス・概要説明			
第2回目	テキストp. 2-4 文学作品の読み方、発表の仕方についてデモンストレーション、感想を小論文にまとめる			
第3回目	テキストp. 5-10、発表、小論文の提出			
第4回目	テキストp. 11-18、発表、小論文の提出			
第5回目	テキストp. 19-24、発表、小論文の提出			
第6回目	テキストp. 25-31、発表、小論文の提出			

第7回目	テキストp. 32-38、発表、小論文の提出	
第8回目	テキストp. 39-45、発表、小論文の提出	
第9回目	文学批評の系譜と現在	
第10回目	テキストp. 46-52、発表、小論文の提出	
第11回目	テキストp. 52-58、発表、小論文の提出	
第12回目	テキストp. 59-63、発表、小論文の提出	
第13回目	テキストp. 64-69、発表、小論文の提出	
第14回目	テキストp. 70-75、発表、小論文の提出	
第15回目	テキストp. 76-82、発表、小論文の提出	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	学習箇所の下調べをして授業に臨み、発表担当学生の説明や発表内容は的確にメモを取る。それらの内容を質疑応答やディスカッションで効果的に利用し、積極的に参加する態度を評価する。
レポート	30%	毎回の授業に関して得た感想を自身で洞察し、小論文に執筆して提出。その内容の明瞭さ、深さ、書き方のスタイルを評価する。
調査報告書		
小テスト	10%	前回講読した内容の中から単熟語の意味や部分訳の正確さを評価する。
試験		
発表内容（態度含む）	30%	担当箇所に関して、単熟語の意味調べ、時代背景や異文化理解等の文学作品理解に必要な下調べ、発表時の和訳の正確さ、説明の的確さ、担当箇所に対する洞察をいかに分かりやすく発表できているかを評価する。
その他		
教科書と参考図書		
"Daddy-Long-Legs" by Jean Webster (成美堂)		
履修上の留意点・ルール		
辞書は調べるものではなく読むものとして、辞書を効果的に利用し言葉の世界を広げる姿勢を。また、作品の素晴らしさを見つけ、感動し、持続して読んで行く姿勢で授業に臨んで欲しいと思います。食べ物飲み物持ち込みは厳禁。		